

【テーマ2】新公会計制度による財務諸表の作成と庁内サポートの充実

めざす方向

「新公会計制度」に基づく財務諸表を作成し、議会における審議に役立てていただくとともに、ホームページにおいて府民に向け、財務情報開示を行います。また、各部局が行う施策の総点検や予算要求時における活用など、大阪府の財務マネジメントの強化につながるよう努めます。

新公会計制度に基づく平成 27 年度財務諸表の作成等

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 年次決算整理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく正確な財務諸表を迅速に作成 <p>■ 財務情報を分かりやすく提供して決算資料を補完</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府財政運営基本条例に基づき、議会や監査へ提出する財務諸表を作成 ・会計別だけでなく、部局別や事業別の財務諸表も作成し、地方自治法の規定による決算資料を補完 <p>■ 財務諸表のマネジメントへの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表の理解促進に関する研修や、分析・評価のための各種の財務指標に係るデータ提供など（適宜） <p>（スケジュール）</p> <p>平成 28 年 5 月 研修、決算整理説明会の開催</p> <p>平成 28 年 8 月末 財務諸表を知事へ提出</p> <p>平成 28 年 9 月 財務諸表の公表</p> <p>平成 28 年 10 月 決算審査の参考資料として、財務諸表を、知事から監査委員の審査に付されるとともに、議会へ提出</p> <p>平成 28 年 11 月～ 財務諸表に係るパンフレット等の作成</p>	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表の作成、公表 ・財務諸表を議会・監査へ提出 ・財務諸表に係るパンフレット、新公会計 NEWS の発行 ・誤りやすい事務などに重点を置いた研修等の実施（20 回程度実施） ・財務諸表の活用を促すためのデータなどの各部局への情報提供 <p>◇ 成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より正確な財務諸表を作成し、分かりやすく提供することで決算資料の補完を図るとともに、財務諸表を活用した財務マネジメントの強化につながるよう努める。 	<p>○年次決算整理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.8.31 各部局をサポートして決算整理事務を実施し、作成した財務諸表を知事へ提出（その後、知事から監査へ提出） ・H28.9.21 平成 27 年度決算に基づく財務諸表を公表 <p>○財務諸表を分かりやすく提供して決算資料を補完</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.8.31 会計別だけでなく、部局別や事業別の財務諸表も作成し、地方自治法の規定による決算資料を補完 ・H28.10.25 大阪府財政運営基本条例に基づき、会計管理者から知事へ提出した財務諸表を、決算審査の参考資料として知事から監査委員の審査に付されるとともに、財務諸表を知事から議会へ提出 <p>○財務諸表のマネジメントへの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新公会計制度推進者向けをはじめ、会計担当新任者向け、昇級者向け、資産を多く抱える所属向けなど、新公会計制度事務に携わる職員のニーズに応じた研修の実施（24 回） また、予算への活用方策等について、公認会計士を講師に招き、関係課と勉強会を開催 ・H29.3.30 財務諸表の分析のための各種の財務指標に係るデータを整理の上、専門家の知見も得ながら分析等の具体的なアプローチ方法などをとりまとめ、「新公会計制度指標分析の手引き」として、部局へ情報提供

統一的な基準への対応

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 国の「統一的な基準による地方公会計の整備促進につ</p>		<p>○統一的な基準への対応</p>

<p>いて」の通知を受け、地方公会計に係る全国統一的な基準等について、国や他の都道府県の動きを注視しつつ、今後の府の新公会計制度の円滑な運用を推進</p> <p>(スケジュール) 平成 28 年 6 月 (適宜) 先行導入団体との意見交換等</p>	<p>◇活動指標 (アウトプット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「統一的な基準」への対応方法の検討にあたっての先行導入自治体等との意見交換 <p>◇成果指標 (アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府の新公会計制度の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.5.24 新公会計制度普及促進連絡会議に参加し、国の統一的な基準について、先行導入団体である東京都や愛知県などと、今後の対応方法等について意見交換を行った ・H28.9.7 統一的な基準による地方公会計の整備に関して、全国知事会から国へ要望を行った ・先行導入団体と適宜情報交換しながら、府の基準と統一的な基準との相違の点検を行った
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

自己評価

達成

【部局長コメント (テーマ2 総評)】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■「新公会計制度に基づく財務諸表の作成等」</p> <p>当初の目標を達成することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表を期限 (8 月末日) までに作成、公表し、議会へ提出することができました。 ・部局へ「新公会計制度指標分析の手引き」を提供するなど、財務諸表の財務マネジメントへの活用に努めました。 <p>■「統一的な基準への対応」</p> <p>当初の目標を達成することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行導入団体との意見交換などを行いながら、府の基準と統一的な基準との相違を点検することで、作成期限 (30 年度中) までの対応に向け着実に準備を進めました。 	<p>■「新公会計制度に基づく財務諸表の作成等」、「統一的な基準への対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き正確な財務諸表を作成し、庁内サポートを充実させる取り組みを進めることで、府の新公会計制度の円滑な運用を推進していきます。